

テーマ：子供の体験活動（青少年の社会参画） 対象：小学生 主催： 広島市中央公民館

# H-⑦大学生が「広島を好きになる」講座を企画 誰かに話したくなる宮島のひみつ

地域を学ぶ	○	地域でつながる	○
-------	---	---------	---

## 1 学習プログラムの展開（令和2年度）

日 程	場 所	学 習 ・ 活 動 内 容
10月～	中央公民館 +Zoom	<ul style="list-style-type: none"> <li>○<b>大学生との連携</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学生が実施計画を作成する。</li> <li>・打合せを行う。(Zoom)</li> <li>・リハーサルを行う。</li> </ul> </li> </ul>
2月20日(土) 10:00～11:00	オンライン (Zoom)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○<b>きっと！お参りしたくなる神社</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己紹介をしよう！</li> <li>・宮島にある神社について、クイズ形式で学ぶ。</li> <li>・大学生が作成したペープサート（人形劇）で宮島にある神社について学習する。</li> </ul> </li> </ul>
2月27日(土) 10:00～11:00		<ul style="list-style-type: none"> <li>○<b>きっと！探してみたくなるお地蔵さん</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宮島のお地蔵さんについて、クイズ形式で学ぶ。</li> <li>・折り紙でお地蔵さん作りをする。</li> <li>・大学生が作成したペープサートで「かさこ地蔵」を楽しむ。</li> </ul> </li> </ul>
3月6日(土) 10:00～11:00		<ul style="list-style-type: none"> <li>○<b>きっと！買ってみたくなるおみやげ</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宮島の名産品（もみじ饅頭、杓子等）についてクイズ形式で学ぶ。</li> <li>・今までの振り返り、一言感想。</li> <li>・アンケートの実施。</li> </ul> </li> </ul>



対 象	小学生
経 費	無料
連携先	広島文教大学 教育学部の大学生

<b>問 合 せ 先</b>	広島市中央公民館 〒730-0005 広島市中区西白島町 24 番 36 号 電話：082-221-5943 ファクシミリ： 082-221-5118
----------------------------	---

## 2 講座設定の理由（学習の目的）

- オンラインを活用した新しい学習スタイルの方法も取り入れ、参加した小学生が大学生との交流を通して、地元広島に興味・関心を持ち愛着心を醸成する。
- コロナ禍で小学生と関わる機会が少なくなった教員を目指す大学生の不安を軽減するためにも目的に、教員を目指す大学生に活動の場を提供し、コミュニケーション能力等の育成を図る。

## 3 学習目標

- 小学生や企画者である大学生が、身近な観光地である宮島の知られざる秘密を楽しく学ぶことを通して、誰かに話したくなるような知識を習得する。
- 小学生同士や大学生とコミュニケーションが取れるような工夫をし、積極的に自分たちの意見を発言できるようになる。また、大学生も小学生とのコミュニケーションの取り方を学ぶ。
- 参加者である小学生も事業を企画する大学生も宮島についての学習を通して、広島に愛着心を持つ。

## 4 事前に必要な主な準備

- Zoom の操作方法
- ICT 機器の準備
- 講師である大学生との連携
- 職員のファシリテーションスキル

## 5 主な留意点

- 大学生の企画案が実現できるよう、可能な限り公民館職員が支援を行う。
- 大学生の発言が一方通行にならないように、双方向で楽しみながら学べる工夫をする。
- 参加者一人一人の意見を大切に、発言しやすい雰囲気をつくる。

## 6 成果

- オンラインを活用したので、新型コロナウイルス感染症の状況に左右されずに、開催することができた。
- 初めてオンラインで参加した小学生が全体の 40%であったが、満足度は 100%であった。また、今後もオンラインでの参加を希望する小学生が多かった。
- 学んだことを実際に確かめに宮島に行きたいと答えた小学生が 50%である。すでに宮島に行くことを予定していると答えた小学生が 50%だった。
- 小学生の保護者から「子どもの発言にも丁寧に伝えていただき、大学生との相互のコミュニケーションがしっかり取られており、息子も皆さんと一緒に参加できているという一体感を味わいながら、楽しんでいただけました。」「幼稚園の兄妹がいますが、いつもイベントに参加するときは、年少の子につきっきりにならないといけなかったり、同伴不可だと参加できなかつたりしましたが、オンラインだとそういう心配もないので、とてもいいと思いました。」「Zoom は初めてだったので最初は落ち着かない様子でしたが、とても楽しい内容で子供がすぐに集中していました。」などの感想が寄せられた。
- 大学生にとっても、子供と関わるたいへん貴重な活動の場となり、これから教員を目指す上で、自信につながる経験となった。

## 7 課題

- 1 週間ごとに事業があったため、2 回目以降の内容について大学生と進捗状況の詳細打ち合わせができなかった。

## 8 今後に向けて

- SNS が得意な大学生と協働し、幅広い事業展開を考える。また、大学生が日々学んでいる専門知識等を活用する事業を実施する。
- 大学と連携し、大学生の地域貢献事業として実施する。
- 大学生とつながることで子供や若者にも公民館に興味を持ってもらい、公民館の新たな利用者（企画者・ボランティア）としての活動を促す。